

会えるまで

夫に先立たれた女性が、その悲しみを埋め
くために、夫のいた頃に戻つてゐる

「ナカハ。」メ 3 び ねく。
「こん」で あヌ ほる。 (一ヌ字) を ほ こ 下 マイ。
ミのスヽノミ ミトタリーダーと 1113。
「ミトタリーダー」で ほる と 色々 かがりよ。

登場人物

親中学校ではほか
全員が参戻。
～とおひねりの～
高川。

日曜初に。

* 二十九は 加納塔子の 新婚時代と既年を

行う乗じえ。 塔子(女)・塔子(老)で

五歳にします。

花屋加納塔子(28)
智美(56)塔子(86)
留(26)塔子(28)
絵(26)塔子(86)

老人施設、

新妻

花屋加納塔子(28)
智美(56)塔子(86)
留(26)塔子(28)
絵(26)塔子(86)

老人施設、

新妻

モジ役スイービ不妄

七歳の山本さん(76)

隣人
石崎さん

隣人
石崎さん

隣人
石崎さん

隣人
石崎さん

隣人
石崎さん

式の参列者たち
看護師 B A
職員 B A
花屋の女性 (23)
花屋の新塔子 (76)
花屋の新塔子 (76)
花屋の新塔子 (76)
花屋の新塔子 (76)

○スープ店
買い物かごを片手に食料品を選ぶ加納
糸こんで精算する。牛肉と春菊、焼き豆腐、納豆
塔子(28)。牛乳と卵、布を力ゴに入れてレバシマ
す。手間取るが、財布からお金を出すまで出にジ

この財布は
新時代の過去の財布か?
とても現代の老人のほそい
時代の財布か?

○花屋の店先
塔子が500円の花束を選ぶ。愛想の良い花屋の主人と
軽く会釈してお金を払います
「いつも通りが応対する。塔子が花束とスープの袋を手にして
お姉さん手と隣人の女性(26)が

塔子のやうは新時代の
財布に見えないは必ずある。
しかし、実は老婆なので
現代の財布である必ずある。

○塔子の家
塔子が花束とスープの袋を手にしている。塔子の家
家の前まで来る隣人の女性(26)が

3/9
塔子のやうは新時代の
財布に見えないは必ずある。
しかし、実は老婆なので
現代の財布である必ずある。

○塔子
「あ、時計おとと丁寧つ家
塔子の空部屋わてかへ入れりにぽ・
お赤夜制塔子の空部屋わてかへ入れりにぽ・
宮ん景服子の空部屋わてかへ入れりにぽ・
參坊をのがの空部屋わてかへ入れりにぽ・
でをバ女赤結婚写真かけ「時いな。塔庫
赤抱ツ子ん婚式真書きや。塔庫
んいク高坊たに生をのがる写真かけ「時いな。塔庫
を若しの抱写真らり度を見見る。
抱いた写真らり度を見見る。
い家結真て。り度を見見る。
た族婚。いと並んで塔子を見る。
老3式の写真。塔子を見る。
婦人の写真。塔子を見る。
人の写真。塔子を見る。
写真。塔子を見る。

○タイトル「会えるまで」

○（別の日）花屋の店先

塔子が200円の花束コーナーからひとつ花束を選ぶ。
花屋「いつもありがとうございます」とうございます
軽く会釈してお金を払い花束を受け取る。

○バスの中

花束を持ってバスに揺られている塔子。

○大学病院前停留所

バスが停まり、塔子がゆっくり降りてくる。

○大学病院・中

塔子が花束を手に夫、加納衛（30）の病室の前に来る。扉を開く。

塔子「衛さん？」

しかし、病室には誰もいない。

看護師

塔子「衛さん？」
A（声）「大丈夫ですか？」
B（声）「すぐに朝霧園に連絡して」

塔子「衛さん？」

遠くで声だけが聞こえる。
混乱して気を失う塔子。

○（別の日）スーパー店内
塔子「牛乳の賞味期限を見つける。レジで精算する。手間取るが、財布からきちんと小金を入れます。牛乳切れでたっけ？」

塔子「本日特売日の看板。買い物かごを片手に食料品を選ぶ塔子。

塔子「牛乳の賞味期限を見つけてから、財布からお金を入れます。牛乳切れでたっけ？」

○花屋の店先

塔子が500円の花束コーナーからひとつ花束を選ぶ。

花屋 「しばらくお見掛けしませんでしたね」「軽く会釈してお金を払い花束を受け取る。

○塔子 「塔子の家・前家の前まで来るとき塔子が花束とスープの袋を手にしてお姉さんを掃除している。」

○塔子の家・中空っぽの中丁寧に買つてきた食料品をパ一に入れる塔子に牛乳に浸して冷蔵庫に入れられる。それから花瓶の花をとりかかる。最初と同様に花瓶の花は完全にしおれていっている。もと花瓶の花は完全にしおれていっていない。

○老人介護施設

(個室とかじめると老人介護施設か病院か分りにくいやつ)

5/9

一回と別に仕てない。

一回と別に仕てない。

○老人介護施設・朝霧園

○同・個室

のよこにはねばいい。

職員 A 「廊下を通りかかる塔子の姿は無い。椅子に塔子の姿は無い。」

廊下を通りかかる塔子の姿は無い。

加納塔子(45)が新入職員A(23)が椅子に座つて静かに目を閉じている。

加納塔子(45)が新入職員A(23)が椅子に座つて静かに目を閉じている。

加納塔子(45)が新入職員A(23)が椅子に座つて静かに目を閉じている。

加納塔子(45)が新入職員A(23)が椅子に座つて静かに目を閉じている。

加納塔子(45)が新入職員A(23)が椅子に座つて静かに目を閉じている。

加納塔子(45)が新入職員A(23)が椅子に座つて静かに目を閉じている。

加納塔子(45)が新入職員A(23)が椅子に座つて静かに目を閉じている。

「之:」

「之:」

みんにしあげははがひたい

「加納さんはたまごをしてるくは御まんが事務にあつて、少しだけ心が痛むishimakuteのよ。

「加納さんはたまごをしてるくは御まんが事務にあつて、少しだけ心が痛むishimakuteのよ。

「加納さんはたまごをしてるくは御まんが事務にあつて、少しだけ心が痛むishimakuteのよ。

「加納さんはたまごをしてるくは御まんが事務にあつて、少しだけ心が痛むishimakuteのよ。

「加納さんはたまごをしてるくは御まんが事務にあつて、少しだけ心が痛むishimakuteのよ。

「加納さんはたまごをしてるくは御まんが事務にあつて、少しだけ心が痛むishimakuteのよ。

「加納さんはたまごをしてるくは御まんが事務にあつて、少しだけ心が痛むishimakuteのよ。

職員に員員た人員員員員員
AはB AのがB A B A B
「赤ち心を病んでんがん」「されてしまわれたらんですか？」

職員事故に納過ぎてはね、亡くなつてしまわれ
「え・やを・ん・で・れ・た・ん・で・す・か・？」

職員の結婚してすぐには主
「ういでのお腹」

職員A

園・個室時計は14時半。
（45）が慌て注意する。椅子に塔子の姿は無い。
廊下を通りかかるベランの職員B

○朝霧園・個室

老人介護施設の老人介護施設

5/9

塔子の家・中空っぽの冷蔵庫に買つてきた食料品を丁寧に入れ牛乳に浸して冷蔵庫に入れ。それから花瓶の花をとりかかる。最初と同じ写真が並んでいる。もと花瓶の花は完全にしおれている。

○塔子「お帰り、お姉さん」
塔子の家・前家の前まで来るとき塔子が花束とスパーの袋を手にしてお掃除している。隣人の女性（76）が

○花屋「しばらくお見掛けしませんでしたね」
「軽く会釈してお金を払い花束を受け取る。

みらいにかけは枝解ひない
「ひもを段には玉アゲンからへ」

「今日は加納でへともと行くの。」

「加納でへた。は始めて行くに

御主人が事ねにあつて、少しだけ

心の病でしまわれたのよ」

「ひもを段には玉アゲンからへ

のよ」に弓はい。

職員り誰寒もりで員員この分員回員ここのご想○回想・塔子の家・中
 れ夕食Aボもいあ・ばBと買で・ブなにた遊園地で映つし食館ごわ。べの主観覽車に乘つて歩き回
 るB A ポもいあ・ばB うの「」つとしの施設住設のんにいいらしてから。今も多分ね
 この「」つい日つ・一(笑つて)「(笑つて)最初の頃は待ち合つて見せた喫茶店過
 と買で・ブなにた遊園地で映つし食館ごわ。べの主観覽車に乗つて歩き回
 がいも・ユイジら遊園地で映つし食館ごわ。べの主観覽車に乗つて歩き回
 多物、・・・1映つし食館ごわ。べの主観覽車に乗つて歩き回
 くをこ・ン画といわ。べの主観覽車に乗つて歩き回
 なしの「」つとしの施設住設のんにいいらしてから。今も多分ね
 って施設住設のんにいいらしてから。今も多分ね
 たとえで、お母さん、愛子おとなしく寝てるし、
 傍には心配そうに見守る塔子の母親、
 智美(めぐみ)。(塔子の家・中)

職員B一出産後、なんとかしなきやつて思われたんではかしこくお昼寝することに気が付かれました。

二二(アマミヤミコ)じアスガード。
 三三(カミシキシナ)トルス方針(カムリ)

○ スーパー店
する。参（86）。買物、牛
財サバから牛を牛
布バカをカジ
お金ゴジヤ
を入が
出れ芋、料
すて品
のレ玉を
にジね選
少でぎぶ
し精、塔
手算人子

○ 朝霧園・面会室
塔子（86）が椅子に座つて静かに目を閉じている。時計は15時を回る。
塔子（28）がそのまま重なる。椅子に座り、現在の塔子（86）がそつとその前にには職員Aの笑顔。
A「ああ、お散歩の時間ね」

塔子（86）が軽く笑う。「ああ、お散歩の時間ね」と同じように、塔子（28）も軽く笑う。塔子（86）の笑顔は、職員Aの笑顔と重なる。

塔子（86）が塔子（28）を見つめ、「ああ、お散歩の時間ね」と言いつづけている。塔子（28）も軽く笑う。

塔子（86）が塔子（28）を見つめ、「ああ、お散歩の時間ね」と言いつづけている。塔子（28）も軽く笑う。

塔子（86）が塔子（28）を見つめ、「ああ、お散歩の時間ね」と言いつづけている。塔子（28）も軽く笑う。

○ 朝霧園・面会室
塔子（86）が椅子に座つて静かに目を閉じている。時計は15時を回る。
塔子（28）がそつとその前にには職員Aの笑顔。
A「ああ、お散歩の時間ね」

「みだいにヒツのマーントつくるだけば。
ラストにうまくネタバレさせらば。
泣ける話にならば。」

「ネタバレはラストでいいかかった。
別がひとこなにうつしやるのよ。」

← ここから 展開部
← 7:00と7:30
← ここより降り
ものどりぬけ。← ここまでが見く
← ここまで設定部

間取るが、きちんと小銭まで出す。

○花屋の塔子（86）が500円の花束コーナーからひとつ花束を選ぶ。いつもあります「いくつもあります」とうございません」軽く会釈してお金を払い花束を受け取る。

○塔子の家・前塔子（86）が花東とスーパーの袋を手にして家の前まで来ると隣人の女性が家の前で待っている。
隣人「お帰り、お姉さん。お孫さん、結婚だ?
塔子「？」
つて？お祝い言おうと思つて」
入る。よく聞こえなかつたが、会釈して家に

○塔子の家・中
空っぽの冷蔵庫に買つてきた食料品を
丁寧に入れる塔子(86)。それから花
瓶の花をとりかえる。もとの花瓶の花
はそうしおれてはいない。
最初と同じ写真が並んでいる。
塔子の結婚式の写真(衛と2人)。
塔子が赤ん坊を抱いている写真。
制服姿の塔子の娘の写真。
夜景をバックにした塔子の娘の結婚式
の写真。
赤ん坊の絵留を抱いた娘家族3人の写
真。
お宮参で絵留を抱いている塔子の写真
その写真をしばらく眺める。

○結婚式場・教会
絵留がウエディングドレスで式を挙げ
ている。
満足そうに参列している留袖姿の塔子。

